第5講 ● 稲作

1　稲作のさかんな地方・都道府県

① 地方別：米の生産量（2021年）

・1位 [A　　　　] 地方　　2位 [B　　　　] 地方

3位 [C　　　　] 地方　　4位　九州地方

・東北6県で，全国の約4分の1を生産している。

・東北地方と北陸地方は [D　　　　] 地帯で，ここから全国に米を出荷しているので，日本の米ぐらとよばれている。

※ [D　　　　] 地帯…冬に雪が多くつもるため作物が作れず，夏に1回だけ米作りをしている地域。

・北海道地方と東北地方の太平洋側では，夏に北東からふく「[E　　　　]」とよばれる季節風の影響で冷害にみまわれることがある。

② 都道府県別：米の生産量（2021年）

・1位 [F　　　　] 県　　2位　北海道　　3位　秋田県

米作りのさかんな平野と川

新潟県…［G　　　］平野－［H　　　］川

北海道…［I　　　］平野－石狩川

秋田県…［J　　　］平野－［K　　　］川

山形県…［L　　　］平野－最上川

豊富な水と豊かな土，夏場の日照時間に恵まれたところで稲作がさかん。

2　米作りの流れ

3月後半　ビニールハウスで【［A　　　］づくり】＝［B　　　］

5月初旬　田おこし，しろかき→［C　　　］使用
田植え→田植え機使用

6～8月　水の管理（［D　　　］）除草，農薬散布など

9月中旬　刈り取り（稲刈り）→［E　　　］使用
乾燥→カントリーエレベーター使用

農業機械の普及(ふきゅう)により，労働時間が10a(アール)あたり1970年代の約120時間から2016年では約24時間に短縮(たんしゅく)されるようになった。

しかし，農業従事(じゅうじ)者は高齢者が多いため，負担が軽くなったわけではない。

収穫した稲はカントリーエレベーターで保管される。

3　品種改良

稲はもともと［A　　　　］性(せい)の作物で，夏に［B　　　　］となる日本の気候は稲作に適(てき)している。また，品種改良(ひんしゅかいりょう)により，寒さに強い品種が作られるようになった。

［C　　　　］（秋田県）＝コシヒカリ＋奥羽292号

［D　　　　］（山形県）＝庄内29号＋あきたこまち

4　これからの米作り

［A　　　　］栽培(さいばい)…農薬や化学肥料などを使わず，たい肥などを使い，作物を栽培する。近年，食品の安全性の観点から，注目されている。

［B　　　　］農法…雑草や害虫を食べてくれる。

ふんが肥料となる。

田の水をかき混ぜて空気を入れてくれる。

稲の根をふむことで強くしてくれる。

農薬散布…ヘリコプターのラジコンを使用することがある。

各種機械が高額のため，共同管理をしている。

農業で働く人たち…［C　　　　］化が目立ち，働く人の数は年々減っている。

第5講 ● 確認テスト

(1)　米の生産量が特に多いのは何地方ですか。

ア　東北地方　　　イ　九州地方
ウ　四国地方　　　エ　中国地方

(2)　新潟県は何地方ですか。

ア　中部地方　　　イ　東北地方
ウ　関東地方　　　エ　九州地方

(3)　米作りで田おこし，しろかきの時に使われる機械は何ですか。

ア　コンバイン
イ　トラクター
ウ　田植え機
エ　カントリーエレベーター

(4)　刈り取りと脱穀を同時に行うことができる機械を何といいますか。

ア　田植え機
イ　コンバイン
ウ　トラクター
エ　カントリーエレベーター

⑸　新潟県の米作りのさかんな平野はどれですか。

ア　庄内平野　　イ　石狩平野
ウ　越後平野　　エ　仙台平野

⑹　山形県の米作りのさかんな平野はどれですか。

ア　庄内平野　　イ　石狩平野
ウ　越後平野　　エ　仙台平野

⑺　あいがも農法のよい点としてあやまっているものはどれですか。

ア　ふんが肥料になる。　　イ　稲の根をふむので稲が強くなる。
ウ　稲の成長が早くなる。　　エ　雑草を食べてくれる。

⑻　新潟県で生産が多い米の品種はどれですか。

ア　あきたこまち　　イ　コシヒカリ
ウ　はえぬき　　エ　ひとめぼれ

⑼　山形県で生産が多い米の品種はどれですか。

ア　あきたこまち　　イ　コシヒカリ
ウ　はえぬき　　エ　ひとめぼれ

⑽　庄内平野を流れる川は何といいますか。

ア　庄内川　　イ　北上川（きたかみ）　　ウ　最上川　　エ　雄物川（おもの）

第5講 ● 確認テスト

解答

(1)　ア	(2)　ア	(3)　イ	(4)　イ	(5)　ウ
(6)　ア	(7)　ウ	(8)　イ	(9)　ウ	(10)　ウ